

第55期 中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日

MOBILE SPACE by 三協フロンテア



株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第55期(2023年4月1日～2023年9月30日)中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、製造業において幅広い業種で生産が増加に転じるとともに、サービス業においても景況感が改善してまいりました。労働需要が増加し実質賃金もプラスに転じる見通しもあるなど、さらなる個人消費や景況感の改善が期待されます。一方で、中国の経済成長率の低下や、各国中央銀行の金融政策の影響、ウクライナやパレスチナでの紛争による混乱など、景気の先行きは不透明であり、注視すべき状況が続いております。

建設業界におきましては、政府建設投資、民間建設投資、ともに堅調な見通しではあるものの、建設資材は高騰が続いており、2024年問題への対応も迫られるなど就労人員の不足が一層顕著になりつつあり、今後の影響が懸念される状況となっております。

このような情勢のなか、当社グループは、展示場の新ブランド「MOPAQ」への既存店舗のリニューアルを推進するとともに、お客様がご利用いただけるレンタルスペースを拡充するなど、計画に沿って店舗網を充実させており、ホームページへのお問い合わせなどお客様からの需要は堅調に推移しております。また、地域社会と繋がりを持ち、地域の活性化に貢献するために、

自社施設を広く地域の皆さまに開放してマルシェを開催するなど、お客様がモバイルスペースを体感・体験し、身近に感じて頂ける店舗づくりを進めております。

あわせて、生産・物流部門を中心に原価低減および経費削減活動を推進し、利益向上に努めております。これにより、当第2四半期連結累計期間は売上高、利益ともに前年を上回る結果となりました。

社会の変化は加速し、企業が求められるものも変化しております。当社グループは、お客様のご要望や望まれる用途により広く応えられるよう、製品やサービスの開発に取り組んでまいります。また、建築の工業化を進め、工業化率(製品を工場内で生産する割合)を向上させることで、納期を短縮するとともに環境負荷を低減させるべく、生産体制の強化に取り組んでまいります。

これからも、2018年4月より掲げている10年ビジョン「地球上でもっとも進化したモバイルスペースメーカーになり、お客様の夢をモバイルすることにより社会のハピネスに貢献する」に沿い、お客様の夢や想いを実現することで、社会から必要とされ、そして社会に貢献する会社を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2023年12月

代表取締役社長

長喜貴嗣

基本理念

目的(存在理由)

社会への貢献

わたしたちは社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、よって社会に貢献することを目的とします。

基本的価値観(不変の主義)

開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、未開の地(新しい分野)に挑戦することを誇りとします。

不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

誠実な意志

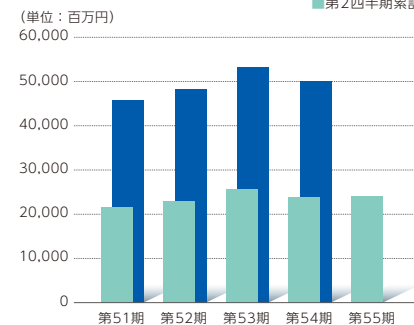
わたしたちは、わたしたちを支える人々[※]に対し、揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

[※]「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー(お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など)を指します。

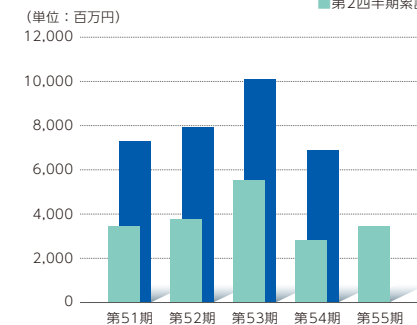
業績ハイライト(連結)

区分	期別	第51期 (2020年3月期)	第52期 (2021年3月期)	第53期 (2022年3月期)	第54期第2四半期 (2023年3月期)	第54期 (2023年3月期)	第55期第2四半期 (2024年3月期)
売上高(百万円)		45,754	48,183	53,346	23,842	50,003	24,165
経常利益(百万円)		7,273	7,918	10,060	2,695	6,888	3,477
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益(百万円)		4,637	5,102	6,353	1,569	4,337	2,063
1株当たり四半期(当期)純利益(円)		417.33	459.17	571.76	141.22	390.34	185.71
総資産(百万円)		58,321	59,234	64,494	60,817	61,118	64,565
純資産(百万円)		30,692	34,480	38,632	39,394	41,307	42,525
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)		2,805	6,146	8,564	1,282	3,323	3,829
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)		△1,891	△1,677	△1,692	△1,815	△2,624	△1,314
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)		△1,965	△3,123	△3,906	△1,997	△3,914	△835

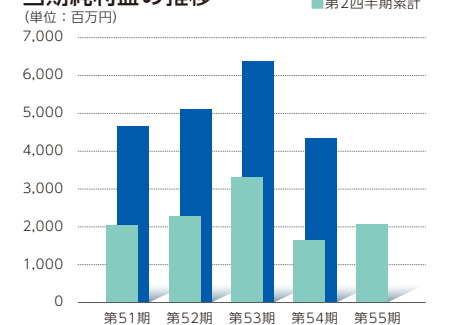
売上高の推移



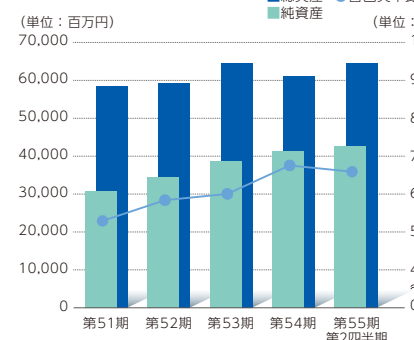
経常利益の推移



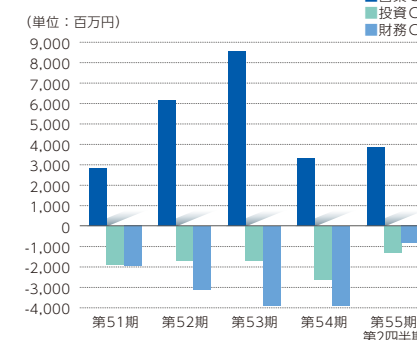
親会社株主に帰属する 当期純利益の推移



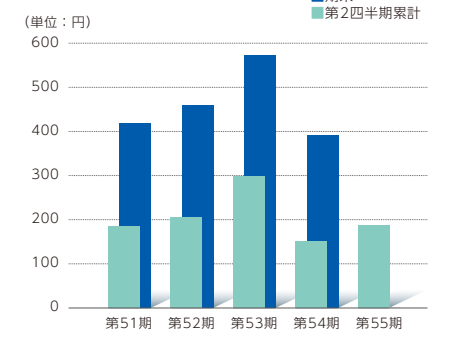
総資産・純資産・自己資本比率の推移



キャッシュ・フロー(CF)の推移



1株当たり四半期(当期)純利益



免責条項 本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

当上半期の業績について

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は24,165百万円となり、前年同期比で1.4%の増加となりました。利益額につきましても、営業利益は3,391百万円(前年同期比33.3%増)、経常利益は3,477百万円(前年同期比29.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,063百万円(前年同期比31.5%増)とそれぞれ増加しております。

モバイルスペースのレンタルについては、出荷棟数、稼働棟数ともに堅調に推移しており、売上高は前年同期比1.4%増となっております。レンタル資産のリユースをより一層促進させる取り組みを行うなど、資産を有効活用し原価を低減させる活動も推進し、事業の強化を図っております。

モバイルスペースの販売及び工事売上については、売上高は前年同期比1.3%増となりました。新規店舗の開設に加えて、展示場の新ブランド「MOPAQ(モパック)」への既存店リニューアルを進めております。体験・体感型の店舗づくりにより、お客様がご自分のご利用状況をイメージしやすくなり、用途の幅が広がっております。会社事務所、飲食販売店、医療施設、イベント関連施設など、多方面でご採用いただき、安定した案件獲得につながっております。

不動産賃貸事業についても着実に店舗を増やし、事業を拡大しております。レンタルスペースは展示場の展示品を活用して展開しており、展示場のリニューアルや新規開設とともに店舗を増やしております。展示品が有効活用されるだけでなく、ご購入を決定しやすくなる相乗効果も期待されます。トランクルームについても屋内型、屋外型それぞれの店舗を新規に開設しております。ルーム稼働率も一定水準を維持しており、売上高は前年同期に比べ2.9%増となっております。

当第2四半期連結累計期間末における総資産額は、レン



レンタル物件外観



飲食店外観



眼鏡店外観

タル資産や展示場等の店舗設備を中心に投資を行ったことにより、前連結会計年度末に比べ3,447百万円増加し、64,565百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債の合計額は、前連結会計年度末に比べ2,229百万円増加し、22,040百万円となりました。変動の大きかった主なものは、未払法人税等の増加742百万円、仕入債務の増加742百万円、その他の流動負債の増加335百万円、資産除去債務の増加176百万円などです。

純資産額は前連結会計年度末に比べ1,217百万円増加して42,525百万円となり、自己資本比率は65.9%と健全な財務状況を保っております。

キャッシュ・フローについては、前連結会計年度末に比べて現金及び現金同等物(資金)が1,701百万円増加し、5,259百万円となりました。営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益による増加が3,382百万円など、3,829百万円の資金の獲得(前年同期は1,282百万円の獲得)となっております。



大学施設外観



大学施設内観

レンタルスペースも店舗数拡大中

ライフスタイルの多様化による空間ニーズの高まりを背景に、展示場の展示品を「レンタルスペース」として貸し出すサービスを行っております。51期4月からレンタルスペースビジネスを開始し、55期上半期は12店舗出店、計57店舗までネットワークを拡大して参りました。

レンタルスペースはカルチャー教室を始めとして、撮影スタジオ、物品販売店舗など、個人から法人の方まで幅広い用途でご利用いただいております。ご利用者様からは「将来自分のお店を持つときにはモバイルスペースの購入を検討したい」などのご感想をいただき、賃貸から購入という利用形態につながり、事業間の相乗効果も徐々に生まれつつあります。



カードゲーム大会風景

Topic 1 施工事例の紹介

伊豆長岡温泉 宿泊施設

廃業して20年以上経過していた伊豆長岡温泉街の老舗旅館を解体し、敷居が高い旅館とは異なり、仕事や観光の通りがかりで気軽に宿泊できるような施設に作り直したいとの構想を持たれたお客様より引合いをいただきました。

当初は管理棟、食堂棟のみをモバイルスペースとし、宿泊棟は在来建築で建てられることを検討されていたものの、補助金の申請など納期がせまり、タイトなスケジュールとなっていました。ちょうど同時期に当社の新製品NOMADがリリースされ、本格的に展示し始めていたことから、内装まで工場で作っていただくNOMADが短工期で最適であり、スタイリッシュな外観も決め手となって宿泊棟にご採用いただきました。NOMADの宿泊棟7棟の他にも、食堂棟や、SANITを用いたトイレ棟、温泉プール用の男女更衣室など多くの主要な施設にモバイルスペースをお使い頂き、多様なニーズにお応えしています。

近年目新しい施設が開設されておらず、地域としても久しぶりの新規事業であったため、オープニングセレモニーでは伊豆長岡市長はじめ地元関係者が集まり、地元のTVニュースでも取り上げられるなど、大変盛況となったそうです。



宿泊施設外観



宿泊施設内観

富士宮ゴルフレッスン場

以前に当社のモバイルスペースをご購入いただいた地元で建設業を営むお客様から、新規事業として室内のバーチャルゴルフレッスン場を運営したいとご相談を受けました。

当初は鉄骨造りの在来工法で進めておられましたが、将来的にレッスン場をいろいろな場所に移動させることも想定されており、短工期で施工ができ、移設ができるモバイルスペースのメリットをそのまま活かしながらも、規格建築物では実現することが難しかった高い天井高を実現したいと特にご要望されたため、工期及び予算を考慮したうえで、天井高の高い製品をご提案し、お選びいただきました。

2023年5月のオープンから約半年になりますが、入会会員数も順調に推移しているらしく、地域の方の健康促進や、地域のスポーツ振興にも役立たせていただくことができ、新規事業に満足されているというお喜びの声をいただいています。

同じお客様から、新たなトレーニングジムの案件もお問い合わせ頂いており、引き続きお役に立てるよう、ご提案を行ってまいります。



ゴルフレッスン場外観



ゴルフレッスン場内観

自動車販売店 (山梨県都留市)

自動車販売場と整備場を保有し、事業経営されているお客様より引合いをいただきました。もともと奥まった場所に販売場と整備場があり、認知されやすいロードサイドに販売場を出店したいとのことで、インターネットで検索して当社製品をご覧になり、デザインを気に入られ、ホームページを通じて当社にお問い合わせをいただいたのがきっかけでした。

在来建築や当社と同じ規格型の建築物を取り扱う会社の製品も検討されたそうですが、デザイン性、オプションやカラーバリエーションの豊富さ、工期の短さ、費用面など、全てのポイントを考えられ、当社をご選択いただけました。室内に柱がないため、家具や家電を配置するスペースが大きく取れるところがメリットになったとのこと。展示場でハウスをご覧になり、実際の色や内装の作りを見ることができたことも、参考になったそうです。

今後も店舗を拡張し、アクセサリーやキャンプ用品などの売り場を作られる構想をお持ちとのこと。移設や増設もできる当社製品の強みを気に入られており、当社も継続してお客さまの夢の実現をサポートしてまいります。



自動車販売店外観



自動車販売店内観

Topic 2 新製品「少量危険物保管庫」リリース

火災発生の危険性がある各種の薬品や物質について、一定の数量以下のものについては「少量危険物保管庫」で保管することが消防法で定められており、以前よりお客様からお問い合わせ頂いておりました。今回、お客様からのニーズを整理し、当社の標準製品であるMSLをベースに仕様を設定し、パッケージとして製品化いたしました。

自然換気式のベンチレーターや防火ダンパー付の給気口、防爆型のLED灯器具を設置し、床は縞鋼板の仕上げにするとともに鋼製の溜枳を設置するなど、法令に定められた機能を適切に満たしたうえで、内装は従来通り鋼板仕上げとなっており、取り扱いやすい仕様になっています。

完成品をトラックで運搬して設置し、設置後にすぐに使用可能な、当社のモバイルスペースの特徴を活かした他社とは一線を画した製品となっています。外観も当社の標準製品と統一されているため、事務所等と並んでご使用されても違和感が生じない意匠です。事務所だけでなく付帯する施設についてもワンストップでご提供することで、お客様にモバイルスペースのメリットを感じて頂けるサービスを提供してまいります。



製品外観



防爆型LED灯器具



側溝・鋼製溜枳

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

	第54期 (2023年3月31日)	第55期第2四半期 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産	17,177	19,675
現金及び預金	3,678	5,559
受取手形	538	285
電子記録債権	1,022	1,484
営業未収入金	4,568	4,918
売掛金	2,095	1,724
契約資産	476	574
棚卸資産	4,370	4,705
その他	488	494
貸倒引当金	△61	△71
固定資産	43,940	44,890
有形固定資産	37,968	38,840
レンタル資産	16,877	17,155
建物及び構築物	8,821	9,637
土地	10,008	10,008
その他	2,260	2,038
無形固定資産	556	681
投資その他の資産	5,415	5,367
資産合計	61,118	64,565

(単位:百万円)

	第54期 (2023年3月31日)	第55期第2四半期 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債	16,797	19,301
支払手形	566	545
電子記録債務	6,554	7,815
買掛金	1,594	1,397
短期借入金	—	2,200
一年以内返済予定長期借入金	2,715	1,115
未払費用	2,337	2,293
未払法人税等	560	1,303
契約負債	1,391	1,174
その他	1,076	1,456
固定負債	3,012	2,738
長期借入金	1,023	578
退職給付に係る負債	1,298	1,321
その他	690	839
負債合計	19,810	22,040
純資産の部		
株主資本	41,148	42,323
資本金	1,545	1,545
資本剰余金	2,776	2,776
利益剰余金	37,142	38,317
自己株式	△316	△316
その他の包括利益累計額	158	202
その他有価証券評価差額金	7	16
為替換算調整勘定	134	169
退職給付に係る調整累計額	16	16
純資産合計	41,307	42,525
負債・純資産合計	61,118	64,565

四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

	第54期第2四半期 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	第55期第2四半期 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	23,842	24,165
売上原価	14,504	14,235
売上総利益	9,337	9,930
販売費及び一般管理費	6,792	6,538
営業利益	2,544	3,391
営業外収益	184	143
営業外費用	33	58
経常利益	2,695	3,477
特別損失	110	94
税金等調整前四半期純利益	2,584	3,382
法人税等	1,015	1,318
四半期純利益	1,569	2,063
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,569	2,063

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)

	第54期第2四半期 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	第55期第2四半期 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,282	3,829
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,815	△1,314
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,997	△835
現金及び現金同等物に係る換算差額	37	21
現金及び現金同等物の増減額	△2,492	1,701
現金及び現金同等物の期首残高	6,759	3,558
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,266	5,259

四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	第54期第2四半期 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	第55期第2四半期 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
四半期純利益	1,569	2,063
その他の包括利益	81	43
四半期包括利益	1,650	2,107

企業の概要 (2023年9月30日現在)

商号	三協フロンティア株式会社
本社所在地	〒277-8539 千葉県柏市新十余二5番地
資本金	15億4,545万円
代表者	代表取締役社長 長妻 貴嗣
設立	1969年12月5日
事業内容	1. ユニットハウスの製造・販売・レンタル 2. トランクルームの製造・販売・レンタル 3. レンタルスペースの運営 4. 立体式駐車装置の製造・販売・レンタル 5. 植物工場の製造・販売・レンタル
役員	代表取締役社長 長妻 貴嗣 取締役 藤田 剛 取締役 小嶋 俊一 取締役 安齋 光晴 取締役 松崎 和秀 取締役 鈴木 洋帆 社外取締役 野倉 学 社外取締役 渡部 秀敏 常勤監査役 村井 康之 社外監査役 山崎 直人 社外監査役 石黒 博 社外監査役 寺嶋 哲生

特定建設業許可 国土交通大臣許可(特-1)第18154号
一級建築士事務所登録 千葉県知事登録1-2205-8844号

株式の状況 (2023年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	30,000,000株
発行済株式の総数	11,678,400株 (うち自己株式565,852株)
1単元の株式の数	100株
株主数	4,462人 (2022年9月末比401名増)

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有)和幸興産	5,616	50.54
長妻 貴嗣	1,658	14.93
長妻 和男	324	2.92
(株)日本カストディ銀行(信託口)	187	1.68
三協フロンティア従業員持株会	153	1.38
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	130	1.17
三菱UFJ信託銀行(株)	100	0.90
(株)千葉銀行	97	0.88
長妻 幸枝	95	0.86
個人株主	90	0.82

(注) 1. 当社は自己株式を565,852株保有していますが、上記大株主からは除外しています。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

株主メモ

事業年度
4月1日～翌年3月31日

定時株主総会
毎年6月

期末配当金受領株主確定日
3月31日

中間配当金受領株主確定日
9月30日

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

公告の方法
電子公告 (URL <https://www.sankyofrontier.com/>)
※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

上場証券取引所
東京証券取引所スタンダード市場

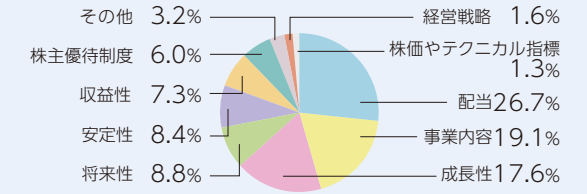
(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

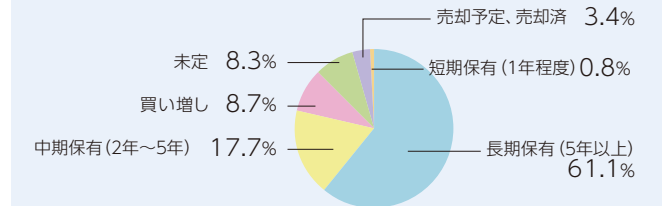
アンケート結果のご報告

「第54期 年次報告書」で実施した株主様アンケートの集計結果をご報告します。350名の株主の皆様からご回答をいただきました。厚く御礼申し上げます。
株主の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、今後の経営方針やIR活動の参考にしてまいります。

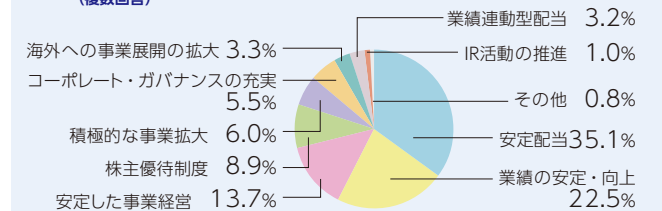
Q1 当社の株式を購入された理由をお聞かせください。 (複数回答)



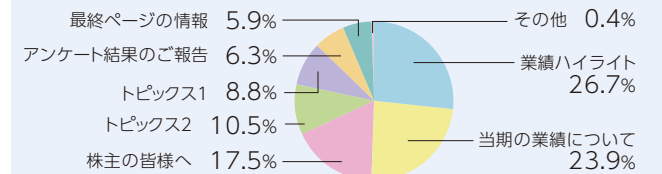
Q2 当社株式の今後の保有方針についてお聞かせください。 (複数回答)



Q3 今後、どのような情報提供を望まれるかをお聞かせください。 (複数回答)



Q4 年次報告書で特に興味を持った内容をお聞かせください。





MS CAMPUSにて イベント開催

2023年11月19日に、当社施設「MS CAMPUS(エムエス・キャンパス)」を開放し、「柏市をもっと知ろう」をテーマに、地域の賑わいづくりのイベント、「MS OPEN CAMPUS(エムエス・オープン・キャンパス)」を開催いたしました。

MSホールでは、柏市を拠点に活動するチアダンスチームのダンスステージや、地域の音楽団体の演奏が行われ、素晴らしいステージにたくさんの観客が魅了されました。MSカフェでは地元店舗によるマルシェを開き、多くのお客様でにぎわいました。



ステージイベント(MSホールにて)

マルシェ(MSカフェにて)



プロスポーツ選手との体験イベント(芝生広場にて)



キッズイベント(子供たちが作ったモバイルスペースの街)

屋外の芝生広場で行われた、当社がプレミアムパートナーとして応援するラグビーフットボールチーム「NECグリーンロケッツ東葛」の選手とのラグビー体験イベントや、「MS LAB(エムエス・ラボ)」内で行ったモバイルスペースの街づくり工作やお菓子釣りなどのキッズイベントは、お子様に大人気で、子供たちの笑顔が溢れていました。

10台ご参加いただいたキッチンカーも、多くのお客様で長蛇の列となり、終了時間ギリギリまでお客様がお買い求めになっていました。

穏やかな天気にも恵まれ、3,000名ものご来場者を迎えることができました。当社の施設を余すところなく活用した、地域の方へ賑わいを提供し、当社を広く知って頂ける素晴らしいイベントとなりました。



当社ホームページのご案内

今後とも、事業報告書やホームページの充実を図り
株主の皆様方へ分かりやすい情報提供を心がけてまいります。

<https://www.sankyofrontier.com/>

三協フロンテア株式会社
本社/〒277-8539 千葉県柏市新十余二五番地 TEL:04-7133-6666(代)

表紙はMS OPEN CAMPUS
の様子になります。

